

タウンミーティング記録 未来へつなごうふじみ野市

日 時 平成 30 年 7 月 15 日（日）午前 10 時～11 時 30 分
場 所 南台 2 丁目集会所（南台 2 丁目自治会）
参加者数 28 人



主な意見等

参加者 エコパに行く交通手段はバスがあるようですが、亀久保あたりにバス停を移してもらえないでしょうか。

市 長 エコパ行きのバスはあるのですが運行コースが決まっており、市内全域を細かく運行する形になっていないのが実態です。お出かけサポートタクシー等の補完する手段も用意しているのですが、皆様の利便性は向上についてはまだ検討していく余地があると考えています。

また、エコパは減免ということで無料での利用を行っていますが、本来であれば利用料を頂くべきだという声が非常に多くあります。利用料だけで維持管理できるというわけではないのですが、市民の皆様からご負担を頂きながら、場合によってはエコパまでの交通手段を便利にしていった方がよいのではないかと思います。考え方としては、少しでも皆様にご負担を頂きながら便利になるように改善していきたいと考えております。エコパへの運行につきましてもさらなる見直しをしていきたいと思っております。

参加者 勤労福祉センターに関して将来的に規模を大きくする計画はあ

るのでしょうか。

市長 スポーツ施設の次は、文化施設の改修検討を進めてまいります。本庁舎の横にある勤労福祉センターは、公民館を含め耐震性は問題ありません。耐震性に問題のない建物に関しては継続して使っていきたいと考えております。

これまで勤労福祉センターが全席満席になるということはほとんどなく、市民文化祭等のイベントでも空席が目立っています。昔に作ったホールですので、音響設備の充実、ステージを広くする等、300～400席くらいのコンパクトなホールに改修したいと考えております。東日本大震災以来吊り天井の課題も抱えていますので、文化施設のあり方に関しては、審議会にご意見を伺いながら検討しております。

参加者 若い世代の流入を考えると開放型のプール等の施設も必要だと思いますが合併特例債の今後の活用予定について教えて頂けないのでしょうか。

市長 プールがある街はすごく魅力的ですが、不幸な事故があったこともあり、ふじみ野市では廃止しました。私たちの市では新たな施設を作って維持管理するのではなく、川越市の水上公園等、近隣にあるものを使っていきたいと考えております。今ある施設の充実や水道管や下水道管の整備、さらに災害に対する備え等にお金を使っていくなど、そのようなところから魅力を増やしていきたいと思っています。

施設を多く抱える市では、廃止できずに苦しんでいる例もあります。合併特例債の今後ですが、学校の改修がまだ終わっておりません。合併特例債の恩恵がなくなったとしても学校の整備は続けていきたいと考えております。

参加者 自治組織の加入率に関してですが、年齢別や地域別の加入率について情報を見せてもらえると、納得して加入率が上がるのではと思うのですが、ご意見をお聞かせ下さい。

市長 具体的にはお示しできないのですが、残念なことにやはり若い世代にどうしてもご理解いただけないことが多いようです。最近の新

しい傾向としましては、これまで一生懸命活動に参加されていた方が高齡のために「まわりに迷惑をかけてしまう」と遠慮する傾向にあります。町内会組織は任意の団体ですが、それが一番の核であると思います。災害等の方が一の時にも助け合えるような組織に、皆で入っておこうという動きになっていってほしいと思います。

参加者 市報の7月号に載っていた「プラチナプラス」とは何ですか。

市長 働き方改革の中で、女性がいきいきと働き続けることができる企業ということで、埼玉県が認定しております。認定基準にすべて該当するのがプラチナプラスという評価です。ふじみ野市役所が、ひとつの事業所として、シルバー、ゴールド、プラチナを上回る評価を頂いております。ご紹介いただきありがとうございます。

参加者 若い世代の流入は喜ばしいことですが、若い世代の人口増加に関しての分析は出来ているのでしょうか。仮に自然増であった場合、偶然の人口増加を市の魅力によるものと勘違いして手を打たないでいると、人口減少に陥った場合にふじみ野市が存続できるのかと感じます。それに対して今このような布石を打っているという秘策があれば教えてください。

市長 まず若い世代の要因把握ですが、ソラガーデンの開発を例にしますと、かつて付近のマンションの入居者が増えず、開発も凍結されていきました。これについては、近隣の学校の老朽化が原因の一つと分かりました。そこで学校の大規模改修の計画を示したところ、まず付近のマンションの空きが埋まり、凍結されていた開発が再開されました。これも一つの政策の効果だと思えます。

もう一点、私たちの強みとしてアピールしていますのは、「災害に強い街である」ということです。地盤が強固であるということをしてPRするために、ふじみ野市を紹介するPR冊子を宅建業界や不動産会社へも配布を行っており、売り込みを行っております。

子ども優先を旗印に保育園の待機児童対策もこの数年間で定員を900人程度増やしており、病児保育も行っておりますので、外からはふじみ野市を選択肢として考えてもらっていると思います。

しかし今に満足してはいけません。この後どう繋いでいくかが大

事だと思えます。若い世代の増加により税収も数億円増えていきます。今後に関しては、若い現役世代の増加による増収を高齢世代に回すことができます。

参加者 「シェアオフィス」に関して、誰もが使えるようなオフィスとして空き家を借りて市営の事業として何かできないでしょうか。他の市との差別化できるような事業が必要だと思えますが、ふじみ野市として考えてほしいです。

市長 シェアオフィスの件ですが、政策としては空き家の管理に関しては、行政がやるのではなく、民間団体やNPO団体に手掛けてもらえるような仕組みづくりをやっていけたらと考えています。直接というよりは、仕組みづくりに尽力したいと考えております。
すばらしいご提案ありがとうございます。

参加者 現在、南台二丁目エリアの子供たちは、駒西小学校に通っています。息子が来年入学予定なのですが、現在、学区の審議会が行われていて、長年の課題だったと聞いています。急に今年の5月に手紙がきて「変わるかもしれない」と知らされました。現状、駒西小学校に通っているお子さんを無理やり転校させることはない、と市役所で伺ったのですが、うちのように第1子が入学する場合は必然的に亀久保小学校に変わってしまいます。そうすると地域のお子さんたちと違う学校に通うことになってしまうのですが、なぜこんなに急なのでしょう。

市長 学区のことは急にというわけではなく、十年来言われてきておりました。合併する以前は町が2つだったので、ちょうどこの辺は入り組んだ地形になっておりました。学校だけではなく水道管やごみの収集に関しても入り組んでいるため道路の反対側は隣町だということがありました。学校に関しても学校が見えるところに住んでいるのに何で駒西まで行かなければいけないのかという方もいらっしゃいました。

合併直後には指定校緩和の措置を取ってきました。ご要望が強かったのは、なぜ東上線の線路をくぐって駒西小学校まで通わなければいけないのかということでした。また、近所のお子さんが駒西小学校へ行くのに、何でうちの子だけというご心配もあるかと思いま

す。学区に関してちょうど審議会が行われており様々な議論が行われている最中です。「何で急に」と言われなかったための予告的な手紙がいていると思います。最終的には激変緩和となるような措置をとると思います。無理やりという方策は取らないと思います。

参加者 10年前からの課題であるならば、転入の時点でこの地域は学区が変わる可能性があるかと教えて頂きたかったです。

市長 学区の問題は本当にデリケートな問題で、道路一本ずらすだけでも大変な問題となります。

転入された時点で何年後に学区が変わりますよというような情報は申し上げることができない状況です。どうしてもということであれば柔軟な対応はできるかと思いますが、私がいい加減な回答をできませんので、詳しくは説明会でお問い合わせ頂きたいと思えます。

参加者 保育所の申し込み日がなぜ1日だけしか設定されていないのでしょうか。2年前に申請しようと思って行ったときに10時から開始だったのですが、結局2時間くらい市役所の階段を5階から下までつたって待っている状態でしたので、これが子供にやさしい市政と言えるのでしょうか。子供をつれての面接をしなければならないということで階段を走り回っているお子さんもいました。例えば事前に申し込みをするようにしてあなたは何時から何時までという様なやり方はとれないのかなと思えました。

市長 もう少し配慮すべき点があると思いますので、対応を伝えたいと思います。ただし大人数の方のご要望を一定期間で受け付けなければならないので、お日にちを限定されるのは難しいと思います。時間的な配分に関しては配慮できるかと思えますので対応を検討していきたいと思えます。貴重なご意見ありがとうございました。

参加者 スポーツフェスティバルの準備が大変なのですが、2年に1度にはできないでしょうか。

市長 せっきくの自治組織なので市役所側がこうしてほしいというようなことは言わないつもりです。役員の方々のご負担は重々承知し

ていますが、自治組織の皆さんで自主的にご意見を出し合って運営していただくのがいいと思います。

参加者 防災無線の聞き取りが非常に悪く、よく聞こえません。
今回の西日本災害の時も防災無線が聞こえないという意見がありました。風向き等でほとんど聞かないこともあるので、災害時に避難指示が聞こえるのか不安です。何か対策をとってほしいです。

市長 音量の制約等やスピーカーの向きで聞こえにくいというのはあるかもしれません。
大変重要なことだと思います。私たちの宣伝不足で申し訳ないのですが、NHKやテレ玉のデータ放送で文字によって災害情報を表示しています。今後は、有償になるかもしれませんが防災行政無線の受信機を家の中に置いていただくことも検討しなければいけないかと思います。Fメールへの登録も引き続き呼びかけていきたいと思っています。

参加者 高齢者はスマホを使いこなせないのが難しい面もあると思います。

市長 テレビはdボタンを押して頂くだけですので、その方法も周知していきたいです。